

令和7年度京都大学法学部  
第3年次編入学試験問題

論 文

試験時間 13 : 30 ~ 16 : 00

※注意事項

- ・ 係員が試験開始の合図をするまで、問題を見ないこと。
- ・ 問題用紙は試験終了後、持ち帰ること。
- ・ 問題は第一問と第二問からなり、全ての問題に解答すること。
- ・ 解答用紙は第一問と第二問別々であるので、間違えないように解答すること。
- ・ 問題用紙は下書きに使用してもよい。

## 第一問

現代の民主制は選挙によって選ばれた代表が政治を担う間接民主制をとることが一般的であるが、一定の場合には国民ないし自治体住民による投票によって決定を行う直接民主制の制度が用いられる。

- (1) どのような場合に直接民主制が利用されるべきか、直接民主制のメリットとデメリットをあげて論じなさい。
- (2) 現在、インターネットなどを用いて直接民主制の適用範囲を拡大する動きがみられるが、その当否について論じなさい。

## 第二問

地方自治体が結婚支援事業（婚活事業）を行うことの当否について、多角的に論じなさい。

（参考資料 1）50 歳時の未婚割合の推移（男女別）（単位：％）

年次	1950	1960	1970	1980	1990	2000	2005	2010	2015	2020
男	1.45	1.26	1.70	2.60	5.57	12.57	15.96	20.14	24.77	28.25
女	1.35	1.88	3.33	4.45	4.33	5.82	7.25	10.61	14.89	17.81

国立社会保障・人口問題研究所『人口統計資料集（2024年版）』、表6-23より作成

（参考資料 2）

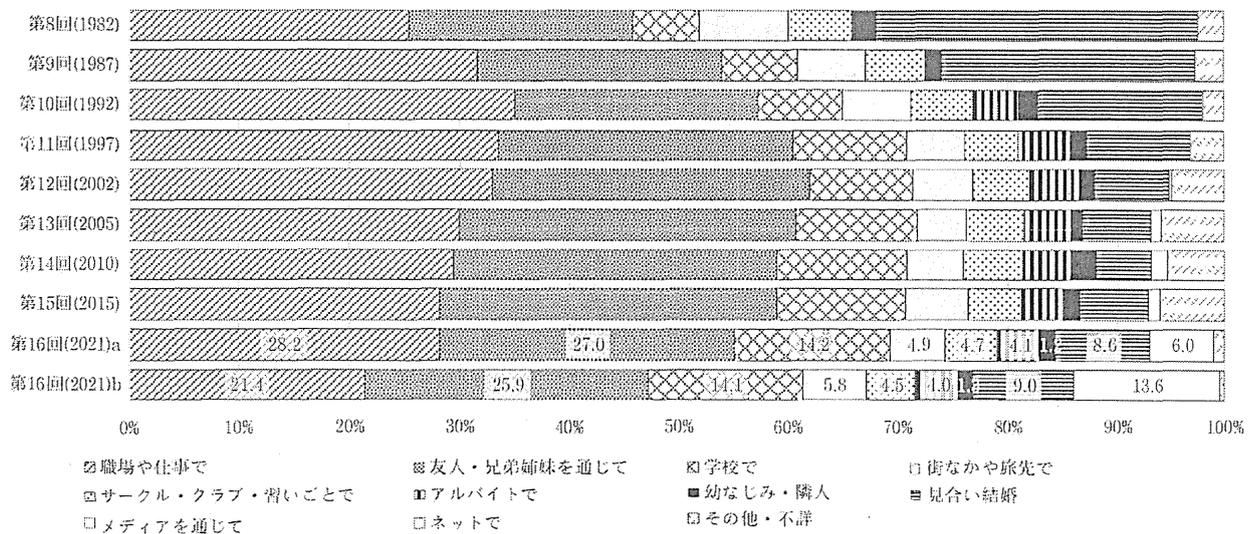


図4 調査別にみた、夫と妻が知り合ったきっかけの構成割合（調査時点より過去5年間に結婚した初婚どうしの夫婦（第16回は過去6年間の結婚））

注：対象は、第15回以前は結婚持続期間5年未満で妻の調査時年齢50歳未満，第16回は結婚持続期間6年未満で，妻が50歳未満で結婚し，妻の調査時年齢55歳未満の初婚どうしの夫婦。2021aは結婚が2015年7月～2018年6月，2021bは結婚が2018年7月～2021年6月。「メディアを通じて」は第11～15回における「その他」の自由記述のうち，（ウェブ）サイト，インターネットといった内容を抽出したもの。「ネット」は第16回における新規の選択肢で，SNS，ウェブサイト，アプリ等によって知り合ったもの。

〔出典〕岩澤美帆・守泉理恵・釜野さおり・余田翔平・吉田航・斉藤知洋・別府志海・是川夕「日本における結婚と出産の動向——第16回出生動向基本調査（2021年社会保障・人口問題基本調査）の結果より——」『人口問題研究』79巻1号（2023）、93頁。